

交通遺児等奨学金(大学)貸与申請書 (予約募集)

学校名	※ 全・定・通				学 校 コード					学科名			
卒業年月	平成	年	月	※ (卒業・卒業見込)		本人携帯電話							
氏 名	フリガナ				※ 性 別	男 女	生 年 月 日	元号	年	月	日		
	-----							平成					
保 護 者	〒				(フリガナ)								
	住所 コード				鹿児島県								
住 所	アパート名 (マンション) 部屋番号				携帯電話								
					固定電話								
※ 入学後の通学方法 (第一希望校)					自宅通学 ・ 自宅外通学								
進 学 希 望 校	第 一 希 望				第 二 希 望								
					※ 国公立・私立							※ 国公立・私立	
	学部(群)				科(類) ※ 昼・夜			学部(群)				科(類) ※ 昼・夜	
大学等入学から卒業までの正規の修学期間					平成31年 4月から平成 年 月まで (年間)								
同一生計の家族状況 (別居者の番号を○で囲み, 専修学校在学中の者については高等・専門課程の別を明記。)													
別居者 に○	本人 との 続柄	氏 名	年齢	所得の種類	在 学 学 校			※ 生徒・学 生の通学 状況	現在受けて いる又は予 約している 奨学金の団 体名				
					※ 設 置 別	学 校 名	学 年						
1	父				—	—	—	—	—				
2	母				—	—	—	—	—				
3	本 人				国・公・私			能・能外					
4					国・公・私			能・能外					
5					国・公・私			能・能外					
6					国・公・私			能・能外					
7					国・公・私			能・能外					
8					国・公・私			能・能外					
9					国・公・私			能・能外					
10					国・公・私			能・能外					

注① ※印の欄は, 該当するものを○で囲むこと

注② 「住所コード」欄は, 別添「住所コード一覧」を参照し記入すること

注③ 「学校名」欄は, “□□高等学校, △△専修学校(専門課程)” など正確に記入すること

* 記入していただいた情報は, 奨学金以外の目的には利用されません。

家族の生活状況及び奨学金を必要とする理由	
特 別 控 除 の 申 告 欄	<p>障害のある人のいる世帯 (1級～3級)</p> <p>障害等級【 種 級】(障害者手帳等の写しを添付) 知的障害【 】(療育手帳等の写しを添付)</p> <p>長期療養者の いる世帯</p> <p>病名【 療養期間【 療養場所【 療養に要する年間支出額【 万円】</p> <p>【病状】</p> <p>主たる家計支持者が別居し ている世帯(単身赴任等)</p> <p>別居の理由【 単身赴任等に要する年間支出額【 万円】</p> <p>震災、風水害、火災その 他の災害又は盗難等の被 害を受けた世帯</p> <p>被害の種類【 被害発生時期【 被害内容【</p>
特 記 事 項	<p>※申請時において家計支持者が無職無収入の場合は、その理由及び期間等をここに記入した上で、「離職証明書」又は「無職無収入証明書」等を添付すること。</p>
<p>貴財団の奨学生として採用のうえ、奨学金を貸与して下さるよう申請します。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>本人氏名 (本人自署) ㊟</p> <p>保護者住所 (保護者自署) 氏名 ㊟</p> <p>公益財団法人鹿児島県育英財団理事長 殿</p>	

注① 「障害のある人のいる世帯」における特別控除は、障害等級1級～3級の該当者が対象。

注② 次の場合は、採用内定が取消しとなるので注意すること。

- ・ 保護者が県外に転居した場合
- ・ 採用内定となった奨学金の対象外校種に進学する場合
- ・ 放送大学、大学及び短期大学の通信教育学部、職業能力開発訓練校等文部科学省管轄外の学校、海外の大学等に進学した場合